

HPE Zerto

Noスナップショット=Noインパクト



VMware Solutions

ORACLE
Cloud Infrastructure

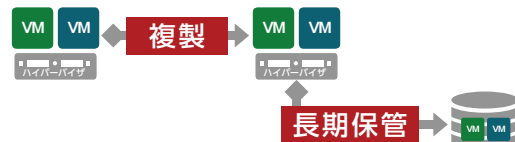
Google Cloud

IBM Cloud

数秒のRPOでデータ損失を最小にした事業継続BC/災害対策DR

- ・ RPO(目標復旧地点): 数秒、RTO(目標復旧時間): 数分(複製VMが起動するまで)
- ・ スナップショットを使用しない、ハイパーバイザベースのレプリケーション
- ・ ジャーナル履歴で数秒間隔でのチェックポイントを保持、データ損失を最小限に
- ・ 仮想マシン内の個別ファイル/フォルダのリストアも可能

- ・ 複製から長期保管用のバックアップも作成可能



アーキテクチャ/機能

ゼルト パーチャル マネージャー (ZVM)

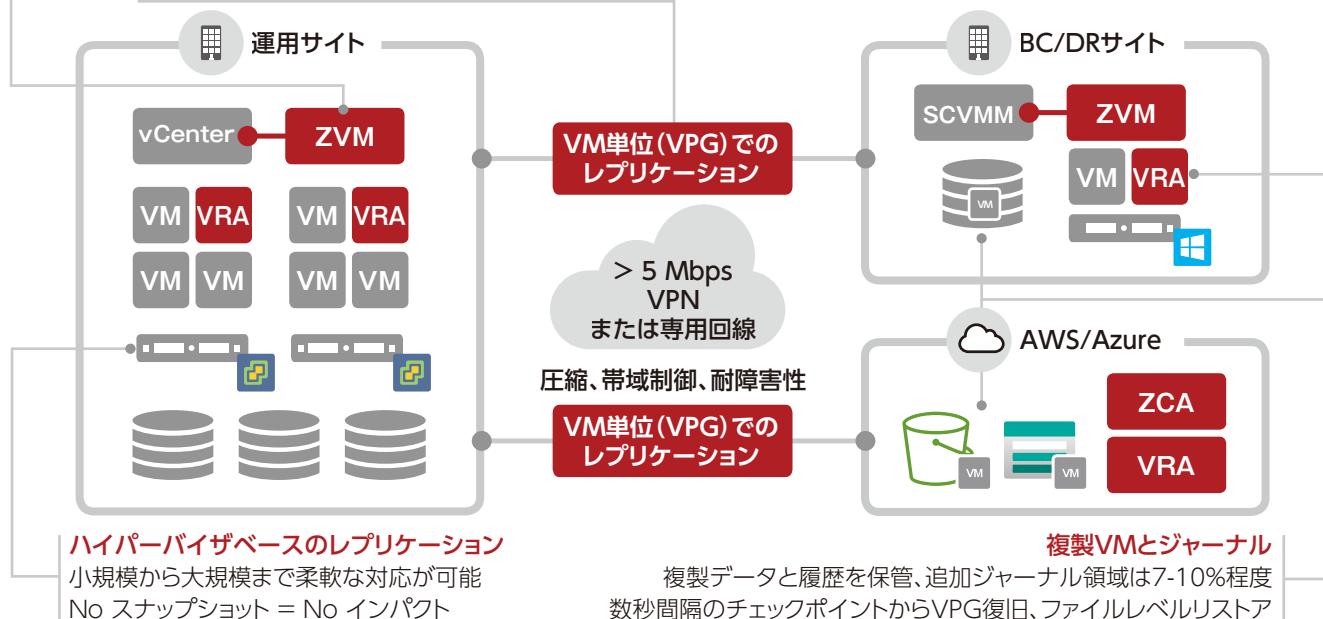
vCenter/SCVMMごとにインストール(数分)
VM単位でDR構成の管理が可能

ゼルト パーチャル レプリケーション アプライアンス (VRA)

ソース/ターゲットクラスタの各ホストごとにインストール
ダウンタイム、インストールによる影響なし

バーチャル プロテクション グループ (VPG)

グループごとにターゲットやポリシー、復旧時の起動順番、構成などを指定しレプリケーションを作成
グループ内の複数VMの書き込み順序は保証され、VM間で依存関係のあるアプリケーションも保護可能



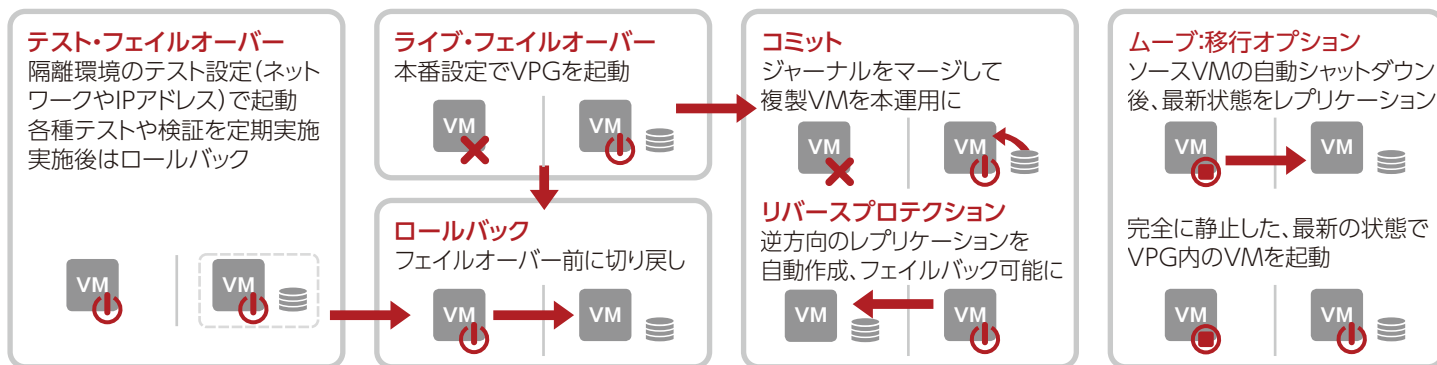
リアルタイム暗号化検出でランサムウェアに迅速対応

レプリケーションのためにVRAでキャプチャされたVMからの書き込みの一部をサンプルとしてZVMへ転送、ZVM上で特許出願中の独自アルゴリズムにより分析、暗号化が検出された場合、アラートやチェックポイントへのタグ付けでユーザの対応を促します。また、アルゴリズムはランダム性に関する累積和(CuSum)テストとエントロピー分析を組み合わせて検知精度を向上し、誤検知を低減しています。

- ・ エージェントレス、ゲストOSに追加なし
- ・ 暗号化をリアルタイムに検知、迅速な対応が可能
- ・ タグ付けで暗号化前のデータを復旧



数クリックで簡単にフェイルオーバー、オプションも柔軟に選択可能



自由に仮想マシンをレプリケーション、ロックインを回避し、移行などにも活用可能

HPE Zertoならば、オンプレからクラウドのみでなく、クラウドからオンプレに戻ってくることも可能です。環境のワークロードを自由自在に移動させ、柔軟なクラウド利用を実現できます。

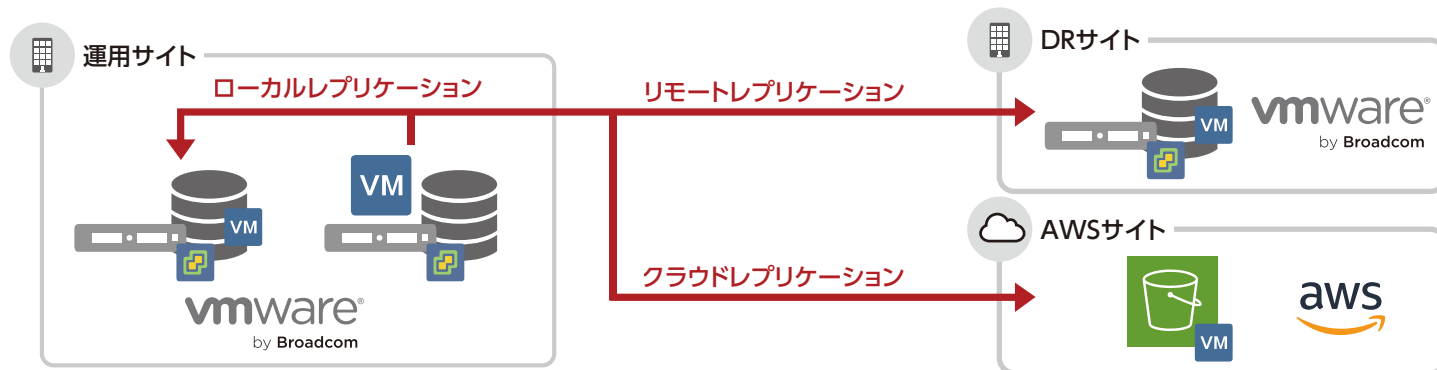
オンプレ環境: VMware vSphere/Microsoft Hyper-V

クラウド環境: Amazon Web Service/Microsoft Azure/その他、vSphereを提供するベアメタルクラウド(IBM Cloudなど)



オンプレ/クラウド各環境のメリットを最大限に活かす:1対多レプリケーション

- ・ 特定のVMを複数のVPGに登録し、複数サイトにレプリケーション
 - ・ 例えば、右のような3種類のレプリケーションを
特定のVMに対して実施し、目的別にサイトを利用
 - ・ RPOを最短にするため、オンプレのローカル内でレプリケーション
 - ・ 災害対策目的でDRサイトのデータセンターにレプリケーション
 - ・ 万が一のバックアップ目的でコストの低いAWSへレプリケーション
- ※AWS上のインスタンスを保護する場合には1対1の従来のレプリケーションのみをサポート



主な特徴

- ハイパーバイゼースレプリケーション**
エージェントレスでスナップショットも
使用せず、運用サイトへの影響はほぼ「0」
- RPO/RTOの大幅短縮**
HPE Zertoであれば数秒のRPO:目標復旧地点、
数分のRTO:目標復旧時間を実現可能
- 継続的なデータ保護**
最新の状態だけでなく最長30日間の履歴を
数秒おきのチェックポイントで保持
- オフサイトバックアップ**
複製VMのデータから独立した
バックアップを作成、長期保管も可能
- シンプルなインストール**
面倒なデプロイは不要、
インストーラで簡単に導入可能
- 自動化**
復旧時のネットワークやVMの構成を
起動順番などを事前設定し、自動化
- 統合管理**
複数サイトのレプリケーションを
1つのマネージャから統合管理
- 柔軟なライセンス**
VM単位のライセンスで
必要な分だけ柔軟に
- ベンダーロックインの排**
ストレージ依存なく自由な
レプリケーションを提供

対応プラットフォーム

対応ハイパーバイザ環境: ・ VMware vSphere(管理ツールとしてvCenter Serverが必要) ※一部ベアメタルクラウドもサポート
・ Microsoft Hyper-V(管理ツールとしてSCVMMが必要)

対応クラウド環境: Amazon Web Service, Microsoft Azure

ゲストOS: 各プラットフォームがサポートするOSをサポート